



7月のほけんだより

令和5年7月発行
愛護保育園

日に日に日ざしが強くなり、心弾む夏がやってきました。
 天気がよければ、毎日プール！の子どもたち。元気そうに見えても、体は意外と疲れています。
 おうちではゆったりと過ごせるようにご配慮ください。

赤ちゃんが高熱、でも慌てないで！

突発性発しん

6か月から1歳くらいの子どものがかかることが多い病気です。この病気で初めて熱が出た！ということも少なくありません。でも、子どもは比較的元気なことが多いもの。水分補給を心がけ、家庭で安静にして過ごせば心配ありません。

主な症状



- 突然の高熱 (38~39℃)
- 熱が下がるころに、全身に大小さまざまな発しん
- 熱があると不機嫌になり、下痢を伴うことも

アタマジラミの予防と駆除

予防

- 毎日大人が洗髪する
- 髪はできるだけ短くするが長い子はしばる
- 衣類や寝具はいつも清潔に
- こまめに掃除機をかける
- ときどきシラミチェックを

いつもすっきり頭でいるために予防を心がけましょう。もしシラミを発見したときは、すぐに駆除を！

駆除

特殊なシャンプーで洗髪

薬局で購入できる「スミスリン」という殺虫効果のあるシャンプーを2~3日に1度使って洗髪。1か月ほど使うことで効果が上がります。

卵は発見次第つぶす

卵を見つけたら目の細かいくしですき取り、つぶします。



気をつけよう！ 夏にはやる病気

夏に気をつけたい感染症。代表的な3つについて、主な症状を挙げてみました。気になる症状が見られたら、すぐに病院へ！

ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み。特にのどは、水ほうや潰瘍ができるため、かなり痛む（乳児はミルクが飲めないほど）。



プール熱

(咽頭結膜熱)

高熱とのどの痛みのほか、目の痛み・かゆみ・充血など、結膜炎のような症状が出る。



手足口病

手のひらや足の裏、口の中に小さな発しんや水ほうができ、熱が出ることも。



6月の感染症

胃腸炎

4名

(下痢・嘔吐含む) (りす・うさぎ・きりん組)

溶連菌感染症

2名 (うさぎ・ぞう組)

ヒトメタニューモウイルス

1名 (うさぎ組)

コロナウイルス

1名 (きりん組)

毎日、暑い日が続いており、夏バテしていませんか。こまめな水分補給・休養・美味しい食事を取りながら熱中症対策していきましょう。また、室内外の気温差で体調が不安定になりやすく、発熱・せき・鼻水の症状がある園児がいます。体調管理に気を付けながら、園生活を過ごしていきたいと思っておりますので、保護者の皆様のご協力の方、宜しく申し上げます。